

新大宮商店街 (新大宮商店街振興組合)

京都府京都市

地域団体との連携ポイントカードで、 地域の人々が寄り添う商店街に



取組の背景

地域コミュニティを繋ぐ 「ふえるかカード」の仕組み

新大宮商店街の特徴的な取組が、独自の地域応援ポイントカードシステム「ふえるかカード」である。これは、お客様が買い物をするたびに、ポイントが付与されると同時に、自治会やPTA等の地域団体に寄付される地域応援ポイントが貯まる仕組みである。このカードは、高齢者の見守り機能も有している。寄付する地域団体は、カードの所有者が指定できることが独特の特徴である。地域団体へのポイントは、毎年3月に商店街から各団体に寄付されている。ふえるかカードによる地域応援ポイントの寄付先の動向から、住民が地域のどの分野及び活動に問題意識を持っているかを分析することができる。また、日々の来街者とのコミュニケーションにより現状や課題を把握し、毎月の理事会や3か月に1度行う会員店舗交流会にて、情報共有がされている。地域貢献につながるポイントシステムを構築した取組は、地域住民のまちづくりへの参画と地域コミュニティの強化に効果を発揮している。



独自の地域応援ポイントカード「ふえるかカード」

取組の内容

商店街の果たす貢献は、 住民と地域団体の便益とともに

商店街は地域に貢献すべきであると考え、商店街ポイントカード「ふえるか」を2013年に、地域応援ポイントカード「ふえるか」に発展させた。「ふえるか」は、お買い物をするたびに利用者が商店街で使えるポイントが付与されると同時に利用者が指定した地域団体(自治会、小学校PTA、学区社会福祉協議会等)に寄付され

る地域応援ポイントが貯まる。これにより地域住民が買い物をする事で、自らが支援したい分野や取組に対して、金銭での直接的支援に加えて、団体取組に対する支援意思の表明を通して、地域住民がまちづくりに参画できる仕組みとなっている。更に、高齢者見守りサービス機能を有しており、利用者が設定した日数の間、カードの利用がなければ、商店街の事務局から利用者に電話連絡を行うとともに、その情報を地域包括支援センターと共有し、利用者の安心・安全の一助としている。

また、京都市から「人にやさしいサービス宣言」商店街として認定されており(市内5商店街を認定)個人経営の店舗だけでなく、大規模小売店舗のスーパーマーケットや家電量販店等とも連携して、商店街の会員店舗が高齢の方、心身に障害のある方、小さなお子様連れの方等に安心して来店してもらえるようなサービスに取組んでいる。

更に、高齢化に伴う地域の課題に商店街として取組むため、社会福祉協議会や地域包括支援センターと連携し、認知症で徘徊する高齢者の特徴を学び、認知症と思われる高齢者にこまめに声をかけ、その可能性が高い場合は速やかに連携先に連絡を行っている。ときには商店街の会員がご自宅までお送りする場合もある。

こういった動きから、毎年恒例の商店街の夏祭りでは、地域とともに「北区新大宮夏祭り実行委員会」を組織し、商店街だけでなく、地域のPTA、自治会、女性会等と連携しながら、地域に愛される夏祭りを開催している。



商店街の夏祭りの様子



商店街イベント、おぜんざい配布の様子

取組の成果

地域団体との連携が魅力的な商店街活動体制を生んだ

ふえるかカードの組織体制が、地域の安全・安心に対する効果を発揮した。まず、運営協議会に参加している京都市北区社会福祉協議会からのアドバイスによって、独居老人の不測の事態に速やかに対応する高齢者見守りサービスを実施するため、地域包括支援センター等の関係機関との連携が構築された。また、地域貢献の範囲を広げるという観点から実施した寄付対象先の増加により、更に広域でのコミュニティ形成ができた。この連携で、商店街に注目が集まり、魅力的な店舗（有名なチョコレートショップ、絵本カフェ、パンケーキカフェ、丹後バラ寿司屋等）の出店が相次いだ。更に、生まれた連携がきっかけで、「北区新大宮夏祭り実行委員会」を地域団体とともに組織したり、商店街のイベントのハロウィンと地域団体のお祭りを同時開催したりと、地域としての一体感を持った体制作りに繋がった。

実施体制

ふえるかカードの運営については、運営協議会である「ふえるか協議会」においてその意思決定がなされている。

ふえるか協議会の委員として、商店街理事長及び副理事長3名をはじめ、各寄付先の代表、京都市北区社会福祉協議会、京都商店連盟、京都市北区役所の福祉担当副区長及びまちづくり推進課長、京都府商業・経営支援課、京都市商業振興課が参加し、商店街のみならず地域での貢献団体を積極的に巻き込んだ運営ができています。

ふえるかカード事業の財源としては、カード加盟店舗が、1ポイントあたり2円を負担しており、そのうち1円がお客様へ、0.8円が指定先への寄付金、0.2円が事務経費となっている。

キーパーソンからのコメント

お買物をしながら地域応援

2013年、旧型のポイントシステムの老朽化により、新しいポイントシステムの導入を余儀なくされました。当時の理事会において、ポイント事業を展開しながら地域に役立つ事が出来ないだろうか？と言う事で考えたのがこのシステムです。尚、地域応援ポイントによる自治会、PTAへの寄付金は、必ず地域の安心安全の為に使って頂く事が義務づけられています。

地域密着型の商店街として

商店街には、ただ物売り買いするだけの場ではなく、防犯、防災の要であり、又、子ども達の教育の場として、そしてお年寄りを含めた地域の人々の交流の場、憩いの場であると言う社会的役割が有ると思います。新大宮商店街は、人と人との繋がりを大切に、地域に根ざした街として、毎年数万人の人が訪れる「北区新大宮夏祭り」等のイベントの大半を地域の人々と連携して実施しています。



新大宮商店街振興組合
理事長
中村 孝(中央)

商店街の概要

新大宮商店街振興組合は、京都市北部に位置する南北約1kmの京都市で最も長い商店街である。周辺には大徳寺、今宮神社等の歴史遺産があり、それらの名所には観光客も訪れる。1920年代後半より、織物のまち西陣の繁栄と周辺の人口増に歩調を合わせて多くの店が開業した。1945年頃から証紙事業を中心に商店会が発足し、1961年に協同組合京都ショッピングサービス、1961年に商店街振興組合として設立した。生鮮三品を取扱う店舗が多く高齢者や主婦層を中心に親しまれる商店街である。また、若手や外部の人材を受け入れる気風があり、地域の自治会、PTA、消防団、大学生、地元不動産会社や京都市等の様々な機関、団体と連携した事業を実施している。

- 所在地 京都府京都市北区紫竹・柴野
- 人口 11万人(京都市北区)
- 電話／ 075-491-8914
- FAX／ 075-491-8914

- URL <http://shin-oomiya.jp/index.html>
- 会員数 68名
- 店舗数 67店舗

- 商店街の類型 生活支援型
- 主な客層 高齢者、主婦／50歳代、60歳代